

令和8年5月15日

【福島大学】行政政策学類刑事政策ゼミ ギャンブル等依存症問題啓発週間にかかる啓発活動を実施します！

このたび、行政政策学類刑事政策ゼミでは、「ギャンブル等依存症問題啓発週間」に合わせ、ギャンブル等依存症に関する学習と啓発活動に取り組むこととなりました。

「ギャンブル等依存症問題啓発週間」とは、ギャンブル等依存症問題に対する関心と理解を深めることを目的として、ギャンブル等依存症対策基本法に基づき、毎年5月14日から20日まで設けられている啓発期間です。

本活動の一環で、令和8年5月19日、ギャンブル依存症家族の会・福島の皆さんと、学内で啓発グッズの配付および公開講座を行います。ギャンブル依存症問題への世代を超えた理解を広げるため、是非当日の様子を取材していただければ幸いです。

【概要】

日時：令和8年5月19日（火）

内容：(1) 啓発グッズ配付

時間：11時50分～12時50分

場所：S棟前広場、学生会館前

(2) 公開講座

時間：13時30分～15時30分

場所：行政政策学類棟2階大会議室

公開講座では、ギャンブル依存症家族の会・福島の皆さんからご経験に即して、ギャンブル依存症や、家族等の身近な人のギャンブル問題との向き合い方についてお話しいただき、刑事政策ゼミの学生と意見交換をおこないます。

啓発グッズの配付、公開講座はいずれもご取材可能です。なお、家族の会の皆さんの写真撮影や氏名掲載の可否については、個別にご確認をお願いします。

なお、刑事政策ゼミでは、啓発週間中（5/20まで）附属図書館1階ロビーにてギャンブル依存症に関する企画展示もおこなっています。こちらもぜひ取材いただきますようお願いいたします。

5月14日～20日のギャンブル等依存症問題啓発週間には、厚労省を中心とした官公庁や団体等により各地で啓発活動がおこなわれています。行政政策学類

刑事政策ゼミでは、以前から依存症に関する学習に取り組んでおり、このたびギャンブル依存症家族の会・福島の皆さんとともに、福島大学の学生・教職員に向けた啓発活動をおこなうこととしました。

近年、オンライン環境の普及等を背景として、ギャンブル依存症の若年化やギャンブルに起因する経済的・社会的問題が全国的な課題となっています。こうした状況を踏まえ、ギャンブル依存症への関心と対策の重要性が高まっており、大学においても依存症に関する理解促進と啓発が求められています。

(お問い合わせ先)

行政政策学類・准教授 高橋 有紀

メール：y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp